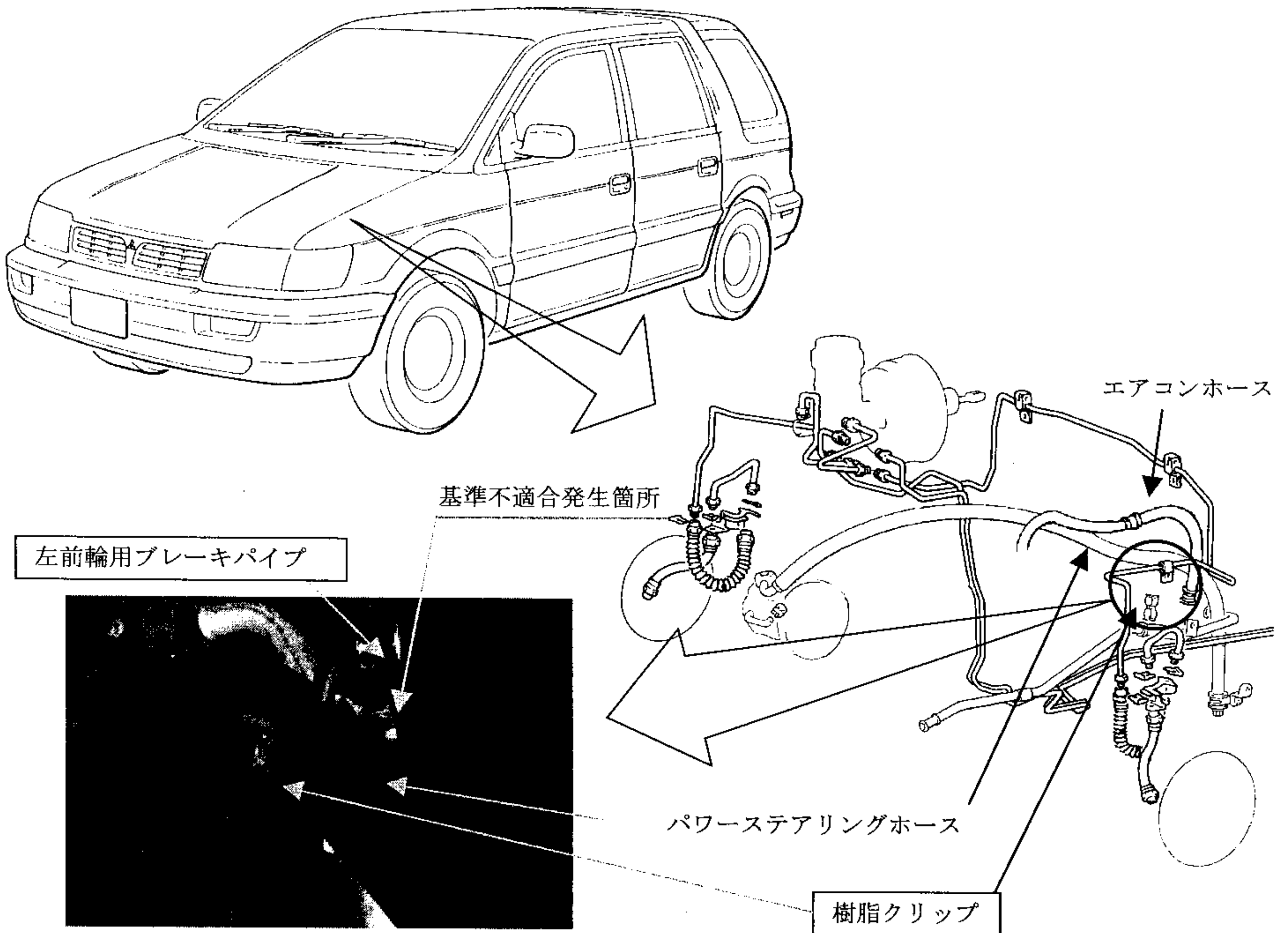


改善箇所説明図



左前輪用ブレーキパイプとパワーステアリングホース固定用樹脂クリップとの隙間設定が不適切なため、組付け時のばらつきにより隙間が小さい場合、走行中の振動等でブレーキパイプと当該樹脂クリップが干渉することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、ブレーキパイプが損傷し、ブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。

改善の内容

・エアコン装着車の場合

全車両、左前輪用ブレーキパイプを点検し、損傷のないものは樹脂クリップを取外し、パワーステアリングホースをエアコンホースに樹脂バンドで固定して隙間を確保する。

損傷しているものは、ブレーキパイプを対策品と交換する。なお、対策品の供給が不足する場合は、当面の暫定措置として、ブレーキパイプを補修の上、樹脂クリップを取外し、パワーステアリングホースをエアコンホースに樹脂バンドで固定して隙間を確保し、後日対策品と交換する。

・エアコン非装着車の場合

全車両、ブレーキパイプを対策品と交換する。

注：図中の 内は交換部品を示す。

識別：左側フードヒンジの上側取付けボルト頭部に白色または黄色のペイントを塗布する。